

5/10(土) 「草花マップづくり」(鳥沼・生きもの調査隊)を実施しました。

博物館講座

投稿者：：

Posted on : 2014-6-14 9:30:00

まずは前回に引き続き「春植物しらべ」。3つの班に分かれて作業しました。

前回の記事で紹介した[レンプクソウの区画](#)はこんな感じ。ヤブニンジンなど他の草が目立っていますが、前は12個体だった葉っぱだけのものが16個体になり、花が咲いたものも一つありました。

。



そして前回、キクザキイチゲかニリンソウ?と予想して設置した区画は・・・

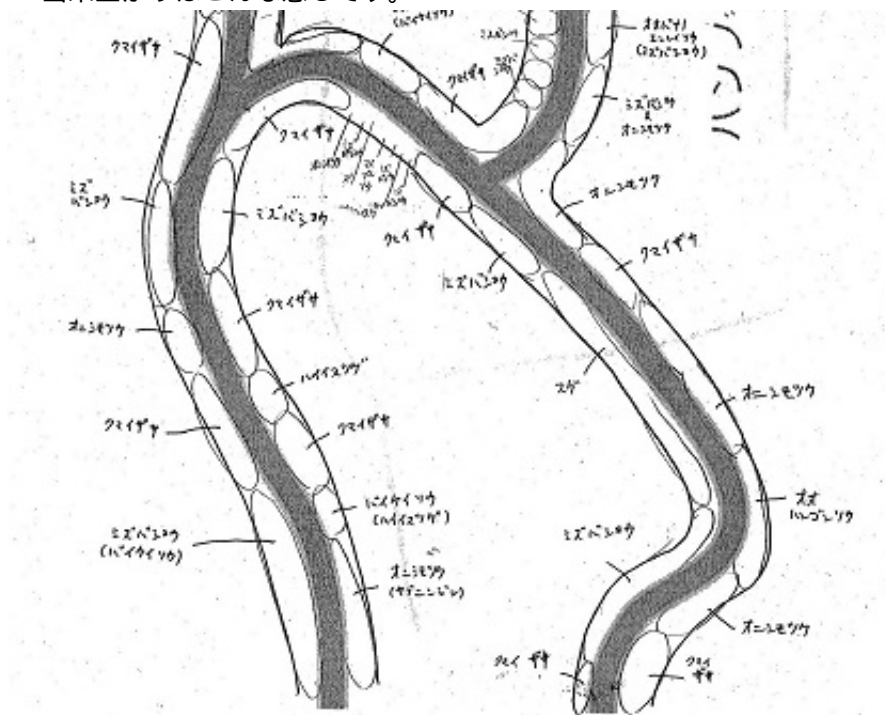


おわかりでしょうか？かの有名な毒草トリカブトが生い茂っています。恥ずかしながら見事に間違えました。学芸員でも間違える！山菜のニリンソウ採りの際はくれぐれも気をつけて！（照れ隠し）

今回のメインテーマ「草花マップづくり」。こちらも同じ班分けで道の両側を見ながら白地図に「ミズバショウ」「クマイザサ」などと記入していきました。



出来上がりはこんな感じです。



前回と同じく日射量調査のシート設置。



自然観察。ユリ科のアマドコロ。「ところ」は「イモ」という意味なので根っこを味見してみると、本当にほんのり甘味がありました。



オオウバユリの根っこを掘りだして大きさ比べ。



右から葉っぱが少ない順に並べてみました。右ほど若い個体です。根っこがだんだん大きくなってきていて、毎年だんだん栄養を蓄える様子がわかります。一番左はつぼみをつけたもの（おそらく6歳以上）ですが、この個体はそのために栄養を使ってしまったらしく、大きいだけで中身はスカスカな根っこでした。

次回の講座（昆虫採集＝ベイトトラップ）は8月2日とお伝えしましたが、諸事情により8月9日に変更となる見こみです。ご容赦ください。